

令和8年度第1回沿岸広域振興圏地域連携懇談会 事前質問・意見一覧

	質問/意見	資料 No.	頁	該当箇所	御意見・御質問の内容	所管
①	質問	資料No. 3-1	P 7	1 復興・伝承 ○ 語り部団体の震災教訓伝承・情報発信事業 ・ 語り部ガイド等の育成、交流、ネットワーク化を推進するため、セミナーを実施	【高橋 奈々美 構成員】 具体的には現在どのようなセミナー、交流会を開いているのか。	経営企画部
②	意見	資料No. 3-1	P 7	1 復興・伝承 ○ 語り部団体の震災教訓伝承・情報発信事業 ・ 語り部ガイド等の育成、交流、ネットワーク化を推進するため、セミナーを実施	【高橋 奈々美 構成員】 修学旅行等で訪れる学生の中には、共感力が高く、話の重さに深く心を痛めたり、トラウマのようになってしまっている子がいる。また、語り部個人の感情の入り方によっては、意図せず他者を非難するような表現に聞こえてしまう懸念がある。 については、今後のセミナー等において以下の2点を検討いただきたい。 (1) 内容のレベル分け 話の重さや衝撃度を（ABC やピラミッド形式などで）可視化し、学校側が事前に適切な内容を選択できるようにする。 (2) 語り部への配慮と研修 語り部自身の気持ちに寄り添いつつ、感情のコントロールや適切な伝え方を学べる研修の場を設ける。	経営企画部

	質問/意見	資料 No.	頁	該当箇所	御意見・御質問の内容	所管
③	意見	資料No. 3-1	P 7	1 復興・伝承 ○ 語り部団体の震災教訓伝承・情報発信事業 ・ 語り部ガイド等の育成、交流、ネットワーク化を推進するため、セミナーを実施	【高橋 奈々美 構成員】 現在、海外からの利用者が増えているが、語り部個人の英語学習には限界があり、通訳ガイドがいても大人数への対応に難しさを感じている。 最初は事務局の負担になるかもしれないが、観光や語り部の定型表現に特化した「英語学習会」を開いていただけないか。 高齢化は進んでいるが、「後世（世界）に伝えていきたい」という意欲的な語り部はたくさんいる。彼らの熱意を活かすためにも、ぜひご検討をお願いしたい。	経営企画部
④	その他	資料No. 1-1	P 1	対応状況（内容） 「令和8年度は、釜石・大槌地域で働く若手の様子を軸に、沿岸地域の魅力を発信する動画を制作予定です。また、移住定住施策担当者や移住コーディネーターを対象とした動画制作ワークショップを開催し、地域から継続的かつ自発的な情報発信が行われる体制構築に向け、取り組むこととしています。」	【高橋 奈々美 構成員】 魅力発信動画の取り組みについて、非常に効果的で良い取り組みだと感じている。 資料に記載の「自発的な情報発信が行われる体制構築」をさらに広げるためのアイデアとして、協力市町村や事業者への声掛けに加え、既存の観光パンフレットや広報誌への掲載など、多様な媒体と連携して「届ける窓口」を広げていくことが有効だと思う。 興味を持ってくれる関係者全体を巻き込み、みんなで広く発信していく体制を作ることで、さらなる認知拡大につながるのではないかと期待している。	経営企画部 （特命）